



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	187,550	40.3	5,661	15.4	5,869	10.3	3,155	16.4
28年3月期第2四半期	133,720	6.7	4,907	△15.1	5,321	△14.6	2,710	△15.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,260百万円(29.0%) 28年3月期第2四半期 2,526百万円(△25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	62.57	—
28年3月期第2四半期	54.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	231,743	85,406	36.6
28年3月期	218,456	81,522	37.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 84,828百万円 28年3月期 80,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	56.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	418,000	36.2	15,800	12.5	16,100	9.2	9,400	6.2	186.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	50,834,700株	28年3月期	49,640,700株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	235,568株	28年3月期	235,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	50,428,560株	28年3月期2Q	49,405,185株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀の金融政策等による雇用改善や設備投資の持ち直し等が見られ、緩やかな回復基調となりました。一方で、アジア新興国経済の減速、英国のEU離脱問題、ドイツの金融問題、米国大統領選挙の行方やFRBによる利上げ観測等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、医療費増加が社会問題として年々深刻化する中で、本年4月に診療報酬、薬価改定が実施され、医療機能の分化・連携をより強固に進める方針が明確になったことで、在宅医療や訪問介護、チーム医療、外来の機能分化等、各医療機関も中長期的な変革を求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、診療報酬、薬価及び償還価格の改定の影響を受けたものの、プロジェクト案件が期初計画に対して一部前倒しで計上されたこと、介護系メーカーにおいて経営改革効果が上がったこと、小西共和ホールディング株式会社との経営統合による新規連結会社の業績の寄与があったこと等により増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は187,550百万円（前年同四半期連結累計期間比40.3%増）、営業利益は5,661百万円（前年同四半期連結累計期間比15.4%増）、経常利益は5,869百万円（前年同四半期連結累計期間比10.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,155百万円（前年同四半期連結累計期間比16.4%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、病院完成案件は下期に偏重しているものの、プロジェクト案件については期初計画より一部前倒しで計上されたとともに、介護系メーカーについても回復基調で推移いたしました。

この結果、売上高は36,490百万円（前年同四半期連結累計期間比7.6%減）、セグメント利益（営業利益）は3,305百万円（前年同四半期連結累計期間比11.5%増）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、償還価格の改定の影響を受けたものの、小西共和ホールディング株式会社との経営統合を実施したこと、新規SPD施設の運営受託したこと等により大幅に増収となりました。

この結果、売上高は126,992百万円（前年同四半期連結累計期間比77.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,058百万円（前年同四半期連結累計期間比12.8%増）となりました。

③ ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、全国施設の一体型経営が進捗したことにより業務改善が図られたこと及び、昨年度において不採算デイサービス拠点の閉鎖等を実施したこと等により大幅に収益が改善いたしました。

この結果、売上高は10,497百万円（前年同四半期連結累計期間比5.0%増）、セグメント利益（営業利益）は326百万円（前年同四半期連結累計期間比428.3%増）となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、昨年度実施したM&Aや新規出店等により増収となりましたが、調剤報酬改定の影響を受け減益となりました。一方で、既存店舗の効率化や、かかりつけ薬局の認定が進んだことも奏功し、第1四半期連結累計期間と比べ減益率が大幅に縮小いたしました。

この結果、売上高は11,858百万円（前年同四半期連結累計期間比1.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1,044百万円（前年同四半期連結累計期間比4.4%減）となりました。

⑤ その他

その他におきましては、日本パナユーズ株式会社他1社をグループ化したこと、動物病院の運営が概ね計画通り進捗したこと等により増収となりました。一方で、理化学機器の販売が当初計画を下回ったこと等により減益となりました。

この結果、売上高は1,711百万円（前年同四半期連結累計期間比116.5%増）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（前年同四半期連結累計期間比16.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は231,743百万円となり、前連結会計年度末と比べて13,286百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が8,618百万円減少した一方、現金及び預金が6,473百万円、商品及び製品が4,800百万円、土地が2,629百万円増加したこと等によるものであります。

負債は146,337百万円となり、前連結会計年度末と比べて9,403百万円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が5,274百万円、未払法人税等が779百万円減少した一方、短期借入金が9,005百万円、電子記録債務が3,927百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は85,406百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,883百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が2,717百万円減少した一方、資本剰余金が3,360百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が3,155百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.6%（前連結会計年度末比0.5ポイント減）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは6,917百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比78百万円収入増）となりました。これは主に、仕入債務が24,382百万円減少し、法人税等を3,759百万円支払った一方、売上債権が27,224百万円減少し、税金等調整前四半期純利益を5,659百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,433百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比119百万円支出増）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が231百万円、長期貸付金の回収による収入が187百万円あった一方、有形固定資産の取得による支出が3,231百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,587百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4,073百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比9,392百万円収入増）となりました。これは主に、配当金の支払額が2,717百万円、長期借入金の返済による支出が3,543百万円あった一方、短期借入金の純増加額が8,805百万円、長期借入による収入が1,700百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて6,454百万円増加し、41,973百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成28年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,255	42,728
受取手形及び売掛金	78,302	69,683
電子記録債権	1,862	1,596
リース投資資産	4,172	4,153
商品及び製品	8,074	12,875
仕掛品	1,763	1,757
原材料及び貯蔵品	982	999
その他	8,809	9,515
貸倒引当金	△84	△83
流動資産合計	140,137	143,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,888	15,030
土地	12,401	15,030
建設仮勘定	2,593	4,811
賃貸不動産(純額)	12,410	12,575
その他(純額)	3,429	3,745
有形固定資産合計	43,723	51,194
無形固定資産		
のれん	11,323	12,179
その他	979	1,352
無形固定資産合計	12,302	13,531
投資その他の資産		
長期貸付金	10,098	9,927
その他	14,576	16,242
貸倒引当金	△2,430	△2,413
投資その他の資産合計	22,244	23,756
固定資産合計	78,270	88,482
繰延資産		
株式交付費	48	32
繰延資産合計	48	32
資産合計	218,456	231,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,074	65,799
電子記録債務	10,058	13,986
短期借入金	1,615	10,620
未払法人税等	3,255	2,475
賞与引当金	1,532	1,874
その他	11,569	13,306
流動負債合計	99,105	108,063
固定負債		
社債	2,050	2,050
長期借入金	29,168	28,663
退職給付に係る負債	2,080	2,463
資産除去債務	326	357
その他	4,201	4,739
固定負債合計	37,827	38,273
負債合計	136,933	146,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	20,356	23,716
利益剰余金	44,366	44,804
自己株式	△448	△448
株主資本合計	79,828	83,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,082	1,168
為替換算調整勘定	136	86
退職給付に係る調整累計額	△52	△52
その他の包括利益累計額合計	1,166	1,202
非支配株主持分	528	577
純資産合計	81,522	85,406
負債純資産合計	218,456	231,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	133,720	187,550
売上原価	117,824	167,470
売上総利益	15,896	20,079
販売費及び一般管理費	10,988	14,417
営業利益	4,907	5,661
営業外収益		
受取利息	153	166
受取配当金	49	73
負ののれん償却額	120	120
持分法による投資利益	12	—
貸倒引当金戻入額	99	42
その他	207	222
営業外収益合計	642	624
営業外費用		
支払利息	143	156
持分法による投資損失	—	7
為替差損	8	115
その他	76	136
営業外費用合計	228	416
経常利益	5,321	5,869
特別利益		
投資有価証券売却益	0	88
補助金収入	4	—
その他	0	0
特別利益合計	4	88
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	11	49
投資有価証券評価損	303	32
厚生年金基金脱退損失	—	208
その他	60	8
特別損失合計	377	298
税金等調整前四半期純利益	4,949	5,659
法人税、住民税及び事業税	2,040	2,498
法人税等調整額	143	△63
法人税等合計	2,184	2,435
四半期純利益	2,765	3,224
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,710	3,155

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,765	3,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182	85
為替換算調整勘定	△44	△49
退職給付に係る調整額	△11	△0
その他の包括利益合計	△238	35
四半期包括利益	2,526	3,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,472	3,191
非支配株主に係る四半期包括利益	54	69

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,949	5,659
減価償却費	1,263	1,268
のれん償却額	850	1,039
負ののれん償却額	△120	△120
持分法による投資損益(△は益)	△12	7
賞与引当金の増減額(△は減少)	59	141
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△113	△43
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22	44
受取利息及び受取配当金	△202	△240
支払利息	143	156
売上債権の増減額(△は増加)	20,177	27,224
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,507	△434
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,797	△24,382
リース投資資産の増減額(△は増加)	93	17
その他	△748	256
小計	10,056	10,595
利息及び配当金の受取額	197	236
利息の支払額	△142	△154
法人税等の支払額	△3,271	△3,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,839	6,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△248	△121
定期預金の払戻による収入	778	126
有形固定資産の取得による支出	△2,008	△3,231
有形固定資産の売却による収入	14	5
無形固定資産の取得による支出	△113	△273
短期貸付けによる支出	△2	△16
短期貸付金の回収による収入	60	16
長期貸付けによる支出	△636	△0
長期貸付金の回収による収入	236	187
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	0	231
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,384	△1,587
その他	△5	235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,313	△4,433

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△320	8,805
長期借入れによる収入	—	1,700
長期借入金の返済による支出	△1,917	△3,543
社債の償還による支出	△110	△15
配当金の支払額	△2,717	△2,717
非支配株主への配当金の支払額	△23	△40
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△150	—
リース債務の返済による支出	△75	△108
その他	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,319	4,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△103
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,795	6,454
現金及び現金同等物の期首残高	37,755	35,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,959	41,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	39,496	71,689	10,000	11,743	132,930	790	133,720	—	133,720
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	623	415	28	—	1,067	11	1,078	△1,078	—
計	40,120	72,105	10,029	11,743	133,998	801	134,799	△1,078	133,720
セグメント利益	2,964	938	61	1,092	5,057	62	5,120	△212	4,907

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△212百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△229百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、株式会社西野医科器械株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては2,495百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	36,490	126,992	10,497	11,858	185,838	1,711	187,550	—	187,550
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,228	966	14	915	3,125	13	3,139	△3,139	—
計	37,719	127,959	10,511	12,773	188,964	1,725	190,689	△3,139	187,550
セグメント利益	3,305	1,058	326	1,044	5,734	52	5,786	△124	5,661

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△124百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が42,607百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。